

川崎市に集積する大手企業 23 社が集結！ 企業の枠を超えた“カオスな共創”から 12 のプロジェクトのアイデアが誕生 「KAOS Projectthon 2026」を開催しました

川崎市は、令和 8 年 9 月 10 日（木）及び 9 月 30 日（水）の 2 日間にわたり、大手企業 23 社とともに、組織の枠を超えた共創プロジェクトの創出を目指すイベント「KAOS Projectthon（カオス・プロジェクトソン）2026」を、川崎市役所本庁舎及び東芝総合研究所イノベーション・パレット（幸区）で開催しました。

本イベントには、市内に研究開発拠点や事業所を持つ大手企業の新規事業・研究開発担当者ら 62 名が参加。企業や業界、さらには行政の垣根を越えて集い、「脱炭素」「健康寿命」「AI 活用」「次世代ものづくり」など、川崎市の特徴を活かしたテーマについて議論を重ねました。

参加者は 2 日間にわたり対話を重ね、その成果として 12 のプロジェクトアイデアを創出。最終成果発表では、参加者投票で選ばれた 6 チームが市長や企業役員・研究所長らに対してプレゼンテーションを実施しました。

川崎市は、本イベントを一過性のアイデア創出に終わらせることなく、プロジェクトの具体化や実証につなげることで、市内企業の持つ技術・人材・知見を結集したイノベーション・エコシステムの形成を加速してまいります。

■日時・会場

Day1：令和 8 年 9 月 10 日（木） 15 時 00 分～18 時 00 分

川崎市役所 本庁舎 2 階ホール（川崎市川崎区宮本町 1 番地）

Day2：令和 8 年 9 月 30 日（水） 10 時 00 分～19 時 00 分

東芝総合研究所 イノベーション・パレット（川崎市幸区小向東芝町 1 番地）

■参加企業 味の素（株）、NTT 東日本（株）、ENEOS ホールディングス（株）、花王（株）、川崎重工（株）、川崎未来エナジー（株）、キャノン（株）、JFE スチール（株）、（株）ゼネラル、太陽誘電（株）、東急不動産（株）、東京応化工業（株）、（株）東芝、ニデック（株）、日本アイ・ビー・エム（株）、日本ゼオン（株）、日本電気（株）、東日本旅客鉄道（株）、富士通（株）、（株）ミットヨ、三菱化工機（株）、三菱電機（株）、（株）レゾナック及び川崎市

■参加人数 市内企業の新規事業・研究開発部門の担当者 62 名

■主催 川崎市

共催 かわさき科学技術サロン

企画協力 川崎イノベーション・エコシステムプロジェクトチーム（※）

（※）ENEOS ホールディングス（株）、花王（株）、JFE ホールディングス（株）、（株）ゼネラル、（株）東芝、ニデック（株）、日本ゼオン（株）、日本電気（株）、富士通（株）、三菱化工機（株）、（株）レゾナック及び川崎市による官民連携のエコシステム検討チーム

KAOS（カオス）とは

KAOS（Kawasaki Accelerating Open Innovation Summit）は、川崎市が市内に集積する大手企業や研究機関と連携し、オープンイノベーションを加速させるために令和8年2月に立ち上げた取組です。川崎市に拠点を持つ企業の新規事業・研究開発担当者が組織の枠を超えて集い、将来の川崎の産業像や社会課題の解決に向けた共創プロジェクトを検討します。

目指すのは、川崎に集積する「技術・知・人材」を結集し、新技術を「爆速」で社会実装できるエコシステムを構築することです。多様な企業・人材が交わる“カオス”な環境から新たな産業や価値を創出し、「世界で一番未来を試せる街・川崎」の実現を目指しています。

Projectthon（プロジェクトソン）とは

Projectthon は、「プロジェクト」と「アイデアソン・ハッカソン」を組み合わせた造語です。アイデアソンが発想を、ハッカソンが試作を生み出す場であるのに対し、プロジェクトソンは、多様な参加者が共創しながら、未来構想から具体的なプロジェクトを生み出し、社会実装に向けた第一歩を踏み出すための実践型プログラムを目指したものです。

1 主なプログラム:

Day 1

「世界で一番未来を試せるまち・川崎」の実現に向けた5つの目指すゴールに関連し、各企業の参加者が、他企業や川崎市との協業・共創により社会実装を目指すテーマやアイデアを発表しました。また、川崎市からも民間企業との連携を期待するテーマを提示しました。参加者は関心のあるテーマごとに分かれ、テーマオーナーとの対話を通じて課題や目指す方向性への理解を深めました。

【5つの目指すゴール】

- 脱炭素でも豊かに暮らせるまち
- 100年安心して暮らし働けるまち
- 世界を変えるものづくりが生まれるまち
- AIが社会を支えるスマートシティ
- 挑戦する人と企業が集まるまち

Day 2

Day1の提案を基に参加者が12チームに分かれ、社会実装を見据えた共創プロジェクトの創出に向けてグループワークを行いました。グループワークで構築したプロジェクトの中から、参加者投票で選出された6チームが、市長や企業幹部に成果を発表しました。

(1) インプットトーク

ゲスト：青山学院大学 地球社会共生学部 教授 学部長 松永 エリック・^{まさのぶ}匡史 氏

(2) グループワーク①：プロジェクト名称と内容の言語化

(3) グループワーク②：プロジェクトの具体化

(4) 成果発表（市長・企業幹部へのプレゼンテーション）

(5) 交流会

2 「KAOS Projectthon 2026」で生まれた 12 のプロジェクトアイデア

■脱炭素でも豊かに暮らせるまち

- ①ググル動物公園
- ②みんなでつくる川崎 CN コンビナート～市民参加による廃プラ循環の拡大～
- ③KAWAL∞P
- ④川崎フェーズフリーEC 構想

■100 年安心して暮らし働けるまち

- ⑤TEK-TECH 転倒予防
- ⑥歩いていたら気づかぬうちに健康になっていたよプロジェクト
- ⑦無意識に楽しく使える「かわさき健幸めぐりプロジェクト」

■世界を変えるものづくりが生まれるまち

- ⑧人と AI 自律型ラボの共創による未来材料開発

■AI が社会を支えるスマートシティ

- ⑨日本初の安全・安心に暮らしを楽しめる町「Quantum Living City」
- ⑩“仮想川崎”で未来を試す

■挑戦する人と企業が集まるまち

- ⑪TRY-SAKI 0-100
- ⑫海外の時間で回せる川崎臨海部の実証フィールド

3 グラフィックレコーディングの展示について

当日は、インプットトークやグループワークの経過、成果発表の内容などを、富士通(株)デザインチームが、絵や図形などを用いてリアルタイムにビジュアル化する「グラフィックレコーディング」という手法により記録しました。

グラフィックレコーディングは、下記の期間・場所において、来訪者に向けて展示いたします。

(1) 川崎市役所

- 実施期間：令和8年10月13日(火)～11月6日(金)
- 展示場所：川崎市役所南庁舎1階市民ホール(川崎市川崎区東田町5-4)

(2) 第19回川崎国際環境技術展

- 実施期間：令和8年11月11日(水)～11月12日(木)
- 展示場所：カルッツかわさき1階(川崎市川崎区富士見1-1-4)

(3) Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC)

- 実施期間：令和8年11月16日(月)～12月24日(木)
- 展示場所：ミューザ川崎セントラルタワー5階(川崎市幸区大宮町1310)

(4) 川崎市役所

- 実施期間：令和9年1月5日(火)～1月19日(火)
- 展示場所：川崎市役所本庁舎1階情報発信スペース(川崎市川崎区宮本町1)

当日の内容をグラフィックレコーディングによりビジュアル化



「KAOS Projectthon 2026」の様子

Day1



テーマ提案者との対話



グループでの対話の結果を参加者全員へ共有

Day2



松永教授によるインプットトーク



プロジェクトの具体化ワーク



アイデアを基に発表資料を作成



市長・企業幹部への発表



参加者全員での集合写真

4 市長コメント要約

今日の発表を聞いて改めて感じたのは、いろいろな業種の皆さんが枠を越えて集まることの大切さです。企業の壁、業種の壁、そして私たち自身の意識の壁を越えていくことで、これまで考えられなかった組み合わせが生まれてきます。ぜひ KAOS をきっかけに、この仲間をもっと広げてください。それぞれが持つ技術や知恵、資源を持ち寄りながら、1社だけでは生み出せない新しい価値を川崎からつくっていきたいと思います。

大切なのは、ここで生まれたアイデアを実際のプロジェクトやビジネスにつなげていくことです。環境や健康、産業など、川崎が向き合う都市課題の多くは世界共通の課題でもあります。だからこそ、川崎をその解決策に挑戦できる街にしていきたい。皆さんの仲間をさらに広げ、実証や社会実装を積み重ねながら、川崎をもっとイノベーティブな、世界で未来に挑戦できるまちへ一緒に育てていきたいと思います。

問合せ先

川崎市経済労働局イノベーション推進部 藤本

電話 044-200-3895 内線 28304